



rfmd.com

RF MICRO DEVICES INC.
IRMA SWAIN, COMMUNICATIONS MANAGER
7628 THORNDIKE ROAD
GREENSBORO, NC 27409-9421, USA
電話: +1 (336) 931-6653
ISWAIN@RFMD.COM



SIRENZA MICRODEVICES
JODI BOCHERT
INVESTOR RELATIONS
電話: +1 (303) 327-3193
IR@SIRENZA.COM

RFMD社、シレンザ・マイクロデバイセス社を買収

統合により世界最大、多角化された最強のRF企業が誕生

ノースカロライナ州グリーンズボロ／コロラド州ブルームフィールド、2007年8月 20日：移動通信を推進する各種アプリケーション向けの高性能無線システム／ソリューションを設計、製造し業界をリードするRFMD社（ナスダック：RFMD）とRF部品メーカーのシレンザ・マイクロデバイセス社（ナスダック GM：SMDI）は本日、両社による最終的な合併契約の締結を発表した。

この合併の主なポイントは以下の通り。

- 複数の高成長市場へのRFMD社の進出を加速すること
- RFMD社のアクセス可能な市場を約67%拡大し、200億ドル超の市場とすること
- RFMD社の持つ高性能ICの設計／インテグレーションに関する高度な専門能力をシレンザ社の多角的な最終市場で展開すること
- RFMD社の全世界的な顧客基盤の多様化を図ること
- RFMD社の経営チームを強化すること
- RFMD社の利益構造を強化すること

両社の取締役会で満場一致により承認された合併契約の条件によれば、シレンザ社の発行済み普通株式の1株が、RFMD社の普通株式1.7848株と現金\$5.56で交換される。シレンザ社の株式を購入する未決済のオプションについてはRFMD社が引き受け、RFMD社の株式を購入するオプションへと変換される。この取り決めの発表前の最後の取引日である2007年8月10日（金）の引け値

によるRFMD社の株価を基準にすると、この対価は1株あたり\$16.64に相当する。これはシレンザ社の株価の同日引け値に17%を上乗せした価格で、また提案金額である約9億ドルのうち3億ドルが現金、残りが株式となっている。この取引は、RFMD社の株式による受取対価の全部または一部がシレンザ社の株主にとって非課税になるよう意図したものである。この取引の完結により、現在のRFMD社とシレンザ社の株主は完全希釈ベースで統合後の会社のそれぞれ約67%と33%を保有することになる。

この取引はRFMD社の第3四半期（～2007年12月29日）中に完了を予定しており、両社の株主による承認と規制当局による認可が必要となる。RFMD社では統合効果を控えめに予測しても、この取引が締結後6ヵ月以内に非会計基準による1株当たり利益の増加を招くことを期待している。

RFMD社とシレンザ社の経営チームは統合され、この合併により生み出される機会の拡大に対応していく。シレンザ社の社長、CEOのBob Van Buskirk氏はノースカロライナに移り、RFMD社の新しいマルチマーケット・プロダクツ・グループを統括する。RFMD社の社長、CEOのボブ・ブラッグワース氏は引き続き統合後の会社の社長、CEOを務める。統合後の会社の取締役会はRFMD社から9名、シレンザ社から2名のメンバーで構成される見込みである。

「この戦略的合併により、RFシステム／ソリューションの高度な専門性を持つ業界リーダー2社が統合されます。」とRFMD社の社長、CEOのボブ・ブラッグワース氏が語る。「これにより広範囲な顧客基盤を持ち、幅広い製品ポートフォリオで高性能な部品とシステムレベルのソリューションを提供する、世界最大で、最も多角化が進み、最高の位置を確保したRFシステムの会社が誕生します。この取引によりRFMD社はRFインテグレーションとシステムレベルの設計技術を生かして引き続き携帯電話の世界を開拓するとともに、その能力をシレンザ社の持つ多くの高成長RF市場、すなわちブロードバンド／CATV、無線インフラ、WiMAX、航空宇宙、防衛関係等の幅広い事業に適用していくことができます。またシレンザ社にとっても同様に、その収入源を部品レベルのソリューションを超えて拡大することができ、またRFMD社の持つ半導体製品の量産リーダーシップの成果としてサプライチェーンの強化や、資材購入の効率向上を図ることができます。この2社の事業はその顧客、市場、製品、製造関係の専門性などあらゆる面で補完的な関係にあり、両社の統合により、RF市場のリーダーとして他社の追随を許さない多角化、規模、および能力が確保されます。」

「我々はこの合意について発表でき、たいへん喜んでいますが、シレンザ社の株主にとって明らかに最高の利益が得られるだけでなくRFMD社の株主や両社の得意先、従業員にとっても利益となるものと信じています。」とシレンザ社の社長、CEOのBob Van Buskirk氏は語る。「RFMD社が築いた技術基盤、サプライチェーン、リーダーシップの地位を活用することで、売上げの増加を加速し利益を拡大できる大きな可能性があります。携帯端末で要求される高い集積度やシステムレベルの設計など、RFMD社の持つ高度な設計技術をシレンザ社の現在の市場に応用できる非常に多くの機会が考えられます。RFMD社とシレンザ社を合わせたアクセス可能な市場の規模は200億ドルを超えるものになり、相互に補完的な関係を持つ2社は顧客の最終製品の品質、効率、性能を向上させる、より高いレベルで統合されたソリューションを提供することができます。」

メリルリンチ社がRFMD社の専任財務顧問を務め、バンク・オブ・アメリカ・セキュリテーズ社がシレンザ社の専任財務顧問を務めた。

電話会議

この取引について討議する電話会議が本日AM 10:00 (EDT) に予定されています。この電話会議はインターネット上で実況放送が行われ、関心のある関係者はだれでもアクセスが可能です。

<http://www.rfmd.com> (Investor Info)、<http://www.earnings.com>、またはwww.sirenza.com (Investor Relations/Executive Presentations) にアクセスしてください。電話会議が開始される少なくとも15分前までにWebサイトにアクセスして登録し、必要なオーディオソフトウェアをダウンロード、インストールしてください。電話会議を実況放送で聴く機会のない方のため、8月13日のほぼ正午 (EDT) から8月20日の深夜 (EDT) までの間、電話で会議の内容を再生して提供します。録音再生用の電話番号は(800) 405-2236または(303) 590-3000、パスコードは11095711#です。

詳しい情報の入手先

RFMD社は本取引に関する共同委任勧誘状／趣意書および関連資料を含むフォームS-4による登録届出書を提出する予定です。この届出書にはこの取り決めに関する重要な情報が含まれているため、各出資者は入手可能になった段階でこの届出書をよくお読みください。各出資者は証券取引委員会 (SEC) のWebサイト、www.sec.govからこれら提出資料や他の提出資料のコピーを入

手できます。さらにRFMD社とシレンザ社の株主は両社から証券取引委員会（SEC）に提出された資料のコピーを無料で入手することができます。これには本プレスリリースの見出しに示されている両社の投資家対応部門（Investor Relations Department）までご連絡ください。

本取引に関し、RFMD社、シレンザ社、およびその取締役や役員はRFMD社の出資者およびシレンザ社の株主からの委任状の宛先と見なされます。本取引におけるこれら取締役や役員の特定の関心事については上記の共同委任勧誘状／趣意書に含まれる予定です。RFMD社の取締役および役員に関する詳しい情報は、2007年6月28日にSECに提出された2007年次株主総会用のRFMD社の委任勧誘状にも記載されています。またシレンザ社の取締役および役員に関する詳しい情報についても、2007年4月27日にSECに提出された2007年次株主総会用のシレンザ社の委任勧誘状にも記載されています。これらの資料はSECのWebサイトwww.sec.govから、または本プレスリリースの見出し部分にあるRFMD社およびシレンザ社の投資家対応部門（Investor Relations Department）から無料で入手できます。

RFMD社について

RF Micro Devices, Inc. RFMD社(NASDAQ RFMD)は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム／ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ（SOC）ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク（WLAN）、無線パーソナルエリアネットワーク（WPAN）、全地球測位システム（GPS）などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のあるRFMD社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置くRFMD社はISO 9001およびISO 14001の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD社はRFMD銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報はRFMD社のホームページ、www.rfmd.comに紹介されている。

シレンザ社について

シレンザ社は高周波（RF）部品のサプライヤ。コロラド州ブルームフィールドを本社とし、中国、ドイツ、米国に拠点を持つシレンザ社とその子会社であるプレミア・デバイス社は民生用通信機器や消費者向け機器、航空・防衛（A&D）機器のマーケットで使用されるRF部品の設計と開発を行っている。シレンザ社の集積回路（IC）、マルチチップモジュール（MCM）、および受

動部品の製品ラインにはアンプ、パワーアンプ、ケーブルTV用アンプ、サーキュレータ、アイソレータ、ミキサー、スプリッター、トランス、カプラ、モジュレータ、デモジュレータ、トランシーバ、チューナー、ディスクリット素子、信号源部品、政府向けや軍用の特定部品、衛星受信用のICなどが含まれる。シレンザ社はコロラド州ブルームフィールドの生産施設についてISO 9001-2000の品質マネジメントシステムおよびISO 14001-2004環境管理システム（QMIに登録）の認証を取得済みで、また上海およびニュルンベルグの生産施設についてはISO 9001-2000の品質マネジメントシステムの認証を取得済みである。シレンザ社のWebサイトwww.sirenza.comおよびwww.premierdevices.comには同社製品の情報が詳しく紹介されている。

「将来的な予測」の記述について

このプレスリリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act）がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RFマイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式10-Kに従ったRFマイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® およびRFMD®はRFMD, LLCの商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###